

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たいむクラブ八幡西 単位2		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 15 日		～ 令和 8 年 2 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 1 日		～ 令和 8 年 2 月 10 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「障害の幅広い特性への対応・個別療育」 様々な特性を持つ利用者に対し、集団での療育と個別療育を組み合わせることで、社会性・協調性を育みながら一人ひとりの個性を大切に支援を行っています。	日々、保護者との対話をしっかり行い、ご自宅の様子や困りごとなどをお聞きしています。問題行動には素速く対応できるように職員間ですぐに共有し対応・対策を考えています。	保護者の方との対話をしっかり行い、困りごとや悩みを抱えていないかを確認していきます。また子どもたちの様子をしっかりと確認するよう職員の支援力を向上できるよう自己研鑽に励みます。
2	「日々の活動の種類の豊富さ」 5領域を意識した活動構成とSSTを取り入れたプログラムを実施し、社会性や日常生活動作の向上を支援しています。	日々の活動内容を職員が交代で考えているため、職員の個性が出ています。同じ活動でも内容がまったく違っており、飽きることなく取り組む事が出来ています。 活動にSSTを組み込んでおり、保護者の意向に沿った日常生活動作の向上に努め、自立に向けた支援を日々行っています。	引き続き、保護者の意見・要望を取り入れ活動に活かしていきます。また日々の活動で少しでも自立に向かうよう心掛けていきます。
3	「広い支援室・身体を動かす活動」 広い支援室を活かし、走る・跳ぶ・バランスをとるなど、全身を使った活動を取り入れています。身体を動かすことで体力・運動機能の向上だけでなく、気持ちの安定など心身ともに健やかな成長を支援しています。	座って行う活動だけでなく、身体をしっかりと動かす活動を多く取り入れています。支援室内の整理整頓に努め、利用者さんが安全に活動に取り組めるよう環境整備をしっかりと行っています。	これからも身体能力の維持・向上に努め、安全に活動に取り組むことが出来るように支援室内を整えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流など障害のない子どもと活動する機会がない。	地域の一般児童との自然な関わりの場が少ない。 保護者や関係者の間でも、「無理をさせたくない」「迷惑をかけるかもしれない」という気持ちがある。	地域の理解と協力を得る。 小さな交流から始める（児童館や放課後児童クラブと一緒に活動する日を年に1～2回企画していく）。 子どもたちの声を大切にする（子ども自身が交流に前向きになれる環境づくりを進める）。 バザー開催などで地域との交流を図っていく。
2	父母の会や保護者会等の開催など、保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者参加イベントは開催しているが回数が少ない。	小規模な交流の場（お茶会などの開催）、 保護者向けイベントの開催（勉強会+座談会）、 など、実開催に向けての努力をしていく。
3	非常時マニュアルの保護者への周知。	連絡帳アプリに記入しているが、保護者への周知が十分ではない。	マニュアルの「見える化」と配布。ホームページやSNS等を活用して周知していく。 また、連絡帳アプリへの記入だけでなく、口頭でも伝えるようにする。